

ベトナムにおける現地情報

2021 年 10 月 12 日

ASIA GATE VIETNAM CO., LTD.

豊田英司

(コロナ感染・死亡者状況)

2021 年 10 月 11 日現在

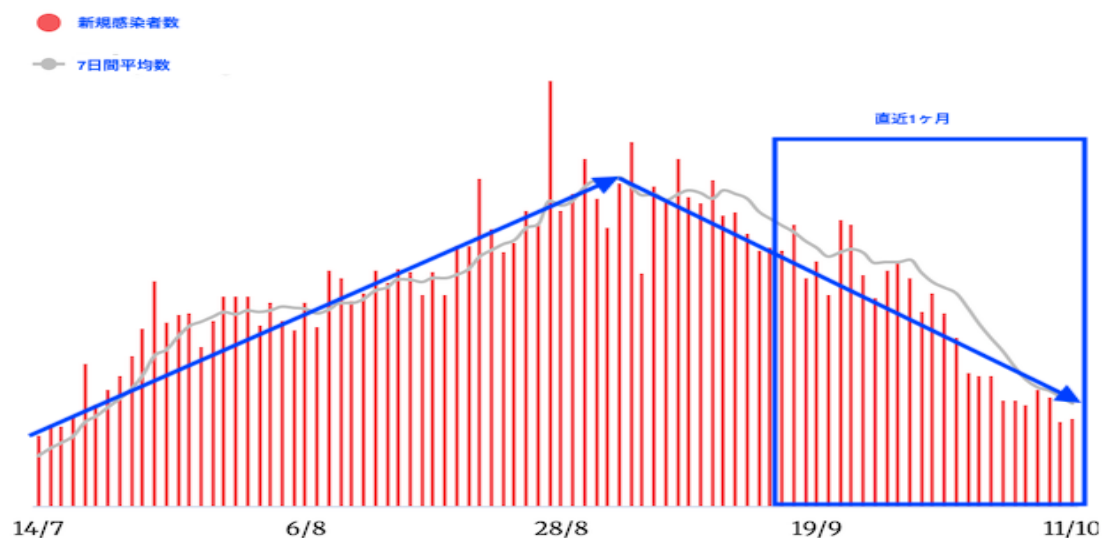
- ・感染者総数：839,662 名（9 月 16 日：635,055 名/+204,607 名）
- ・死者：20,555 名（9 月 16 日：15,936 名/+4,619 名）

(全般)

今年 4 月末からベトナムを襲った新型コロナ感染の第 4 波はここに来てようやく沈静化した、と言えると思います。

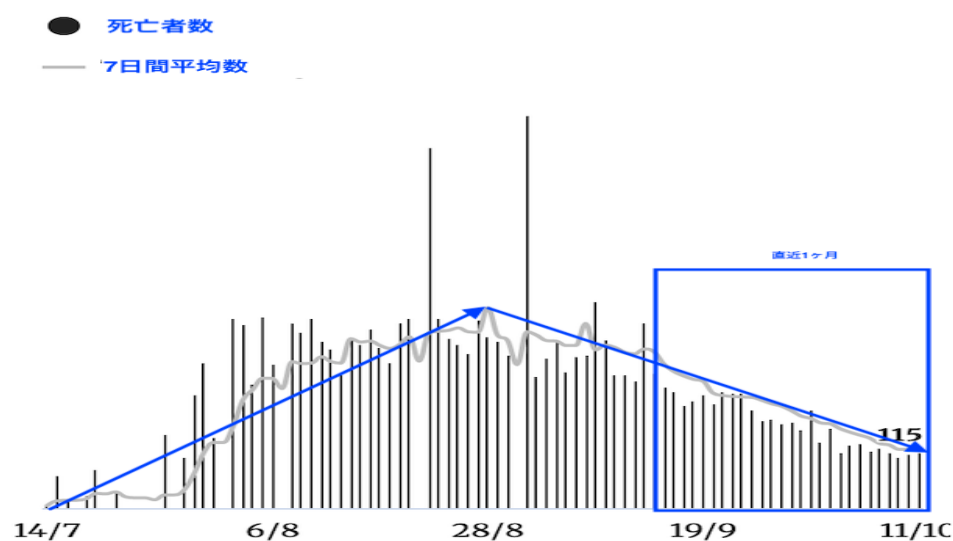
下記図 1 をご覧ください。

8 月末頃をピークに順調に新規感染者数が減少していることがわかります。ピーク時には 1 万 5 千人前後だった 1 日の新規感染者は現在、3 千人台にまで減少しています。



(図 1：ここ 3 ヶ月間のベトナムの 1 日あたりの新型コロナ新規感染者数グラフ)

同じく新型コロナによる死亡者数もピーク時に毎日 300 人台だったものが 100 人台になっております。



(図2：ここ3ヶ月間のベトナムの1日あたりのコロナ関連の死亡者数グラフ)

このような状況を受けて10月1日よりホーチミンを中心とした南部地域、およびハノイにて首相命令により実施されていた「社会的隔離措置」と呼ばれる外出禁止を主とする社会活動制限は大きく緩和されました。

まずは外出制限が大きく緩和され、飲食店などの店頭での受け渡し、デリバリー配達も条件つきながら再開されました。

都市間の移動制限や国外からベトナムへ入った場合の制限は従来通りかなり残っていますが、3ヶ月以上続いた厳しい外出制限措置が緩和されたことで社会に明るさが戻ってきました。

(経済)

9月29日 ベトナム統計総局(GSO)は、2021年第3四半期(7~9月)の実質国内総生産(GDP)の伸び率が前年同期比でマイナス6.17%とベトナム史上でも類を見ない下げ幅を発表しました。が、この数字はベトナム最大の商業都市であるホーチミン市が徹底的な外出規制を敷かれた以上、致し方ない数字と言えるかと思えます。

10月1日以降、市内の経済は再開され、工場などの操業も条件つきながら再開したことで第4四半期は大きく回復するものと思われます。

(ワクチン接種の状況)

全国的に見るとワクチン接種率は低いように見えますが感染懸念の高い大都市のホーチミンやハノイなどではすでに1回以上のワクチン接種者は18歳以上の成人ではほぼ100%の水準となっており、順調にワクチン接種が進んでいます。

(10月8日時点でのベトナム全土での数字)

- ・一回以上のワクチン接種を行なった人数：38.43% (9月14日時点：25.89%)
- ・ワクチン接種が完了した人数：14.51% (9月14日時点：5.94%)

(出典：Our World in data：<https://ourworldindata.org/covid-vaccinations>)

(ベトナムと日本の往來の状況)

ベトナムへの渡航は引き続き不定期に運行される特別便のみとなっております。前月に引き続きJAL、ANAは増便しております。

ベトナム航空も9月下旬以降、成田→ハノイ/ホーチミン便を再開しております。

ただしベトナム航空のハノイ→関空便については一旦、ペンディングとなっているようです。福岡の企業の方にとってはハノイ→関空便の再開は朗報だっただけに残念です。

ベトナムへの渡航をご検討の方は各会社、もしくは旅行代理店へお問い合わせください。

(ベトナム入国時の隔離状況)

ベトナムへ到着してからの「集中隔離期間」について、先月同様、「ワクチン接種を完了しているか」どうかで下記のように隔離必要期間が変わります。

(ワクチン接種未完了の者)

- ・集中隔離期間：14日間
- ・自宅・居住地での医療観察期間（自主隔離）：14日間
自主隔離期間も原則、外出は禁止。

(2回以上のワクチン接種を完了するなど一定条件を満たす者)

- ・集中隔離期間：7日間
- ・自宅・居住地での医療観察期間（自主隔離）：7日間

ベトナムへ入国される場合の手続きについてはいまだに不透明な部分も多いので旅行代理店などへしっかりとご確認の上、手続きください。

より詳しいベトナム渡航に関する情報をご希望の方は在ベトナム日本大使館のウェブ

サイト内の下記ページを確認ください。

(ベトナムへの入国を希望する皆様へ)

https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/20200731nyuukoku.html

以上